

OMM JAPAN 2022 コースプランナーレポート

開催までの経緯

2年ほど前からひるがの高原のエリアでの開催を模索し現地の下見を行った。高鷲スノーパークのある西側の山も候補地であったが、急斜面が多く尾根上も笹藪で登山道から外れられる箇所が限られるため、東側の見当山を中心とするエリアを利用することとなった。さらに、会場とキャンプ地が鷲ヶ岳スキー場と一色の森キャンプ場に決まり、県道452の南側と東側も範囲として使うことになった。

2022年春以降にトレイン調査を始めた。スキー場から県道452、見当山、県道452と東側の山塊を行き来できる部分があるか懸念していたが、どこも複数のカ所で通れることがわかりルート選択を含むレグを設定することができた。昨年の下見の時点では、北西のソーラーパネルの工事の範囲が小さく、その部分をもう少し使う想定をしていたが、今年の調査の段階で工事の範囲が広がっていた。そのため、Straight Eは別荘地を回る回しにし、ソーラーパネルの脇を通過する可能性があるクラスもStraight EとScore Longのみとし、他のクラスでは近づかない設定とすることにした。

9月に試走を行い、そこで上がった危険箇所などの確認を行いコースを調整して10月にコースを確定した。

コースプランの留意点

前回のDay1ではエスケープルートが無く、リタイヤしてもキャンプ地までなかなか戻れないチームがあった。リタイヤする場合でもキャンプ地へ向かいやすいというのは今回注意した点である。今回は県道452がエリア内を通っているためその点では比較的組みやすかったが、そのうえでStraightでは途中でリタイヤしやすいような回しにもした。Scoreについては比較的どこからでも県道に出ればキャンプ地に向かえるため、広い範囲を利用することができた。Score LongではStraight Eと同じ範囲でコントロールを設定していたら、気が付くとDay1で例年よりコントロール数が多くなっていったが、せっかくであれば広い範囲を堪能してほしいのもありそのままの数で調整した。また、Day2でも範囲が狭くならないよう、Day1の別のクラスのコントロールを利用して共通するエリアを使った。結果的には範囲が広く想定よりも得点率が低くなった。

今回は、オンラインコントロールをクラスで共通にしてなかったため、Day1とDay2の間でオンラインコントロールの付け替えが必要となった。また、Day1のコントロールをDay2で利用するのも多くあったため、当日のコース管理が煩雑になってしまう部分があった。コントロール撤収でのミスを生まないためや、不慮の事態に対応できる余裕を持つておくためにも、コース設定の段階で当日のコース管理のしやすさにも配慮したい。

Result より

Straight の結果は表 1 の通りである。Top5 の平均を見ると、Day1 は Straight E がほぼ想定通り、Straight A と B が短めの結果となった。Day2 は Straight E と A が想定通り、B が短めの結果となった。完走率も概ね想定通りで、距離や難易度としては妥当だったといえる。

日	コース	制限時間	ウイニング	想定完走率	コース距離	想定登距離	想定ルート距離	距離+登(L)	Top5平均(5)	Top5 pace =5/L	完走率	完走	失格
Day1	E	10h	6-6.5h	40-60%	22.4	1780	32	49.8	6:17:39	0:07:35	61%	34	22
	A	9h	5.5-6h	50-70%	16.5	1390	26	39.9	5:03:48	0:07:37	72%	63	25
	B	7h	4.5-5h	60-80%	12.4	1100	21	32.0	3:57:14	0:07:25	79%	78	21
Day2	E	9h	4.5-5h	40-60%	15.9	1580	24	39.8	4:55:07	0:07:25	69%	38	17
	A	8h	3.5-4h	50-70%	12.1	990	19.5	29.4	3:56:49	0:08:03	76%	65	21
	B	6h	3-3.5h	70-90%	9.4	870	14.5	23.2	2:45:53	0:07:09	84%	81	15

表 1. OMM JAPAN Straight コース結果

Score の結果は表 2 の通り。両日両クラスとも厳しめの設定になった。範囲も広く多くのコントロールを回るには山を何度も上り下りしなければいけない設定だったためだろう。一方で、ルートを見ると上位チームでも回ったコントロールが分かれており、多くは回れない中でどこを取りに行くかという戦略が問われる設定だったともいえる。Score についてはどのようなコースが適しているのかまた次回以降検討していきたい。

日	コース	制限時間	満点	想定優勝得点率	Top Score	Top得点率	Top5平均	Top5得点率	平均点	中央値	完走率	完走	失格
Day1	L	7h+1	750	60-70%	500	67%	442	59%	228	220	99%	261	3
	M	6h+0.5	600	60-70%	330	55%	312	52%	152	150	95%	83	4
Day2	L	6h+1	600	75-90%	320	53%	286	48%	108	120	89%	234	28
	M	5h+0.5	600	75-90%	340	57%	296	49%	183	200	90%	77	9

表 2. OMM JAPAN Score コース結果

コースプランナー

谷川 友太